

「滋賀県水道用水供給条例」の一部改正について

<趣旨>

平成28年度から平成32年度までの次期5年間の収支計画に基づき、料金を改定することとし、「滋賀県水道用水供給条例」の一部を改正しようとするものです

<料金改定の基本的な考え方>

- ◆水道事業継続に真に必要な施設整備をアセットマネジメントにより効率的に実施
- ◆健全な財政を維持するために保つべき経営水準を確保
- ◆料金体系や水量の考え方は現行制度による
- ◆平成22年11月12日に各受水市町長と企業庁長との間で締結された「南部上水道供給事業と東南部上水道供給事業の統合に関する協定書」に基づき、平成28年度から基本料金および使用料金を統一する

1. 料金改定案

(税抜)

		浄水場	現行料金	改定案
			H23～H27	H28～H32
基本料金の料率	基本水量1㎡につき月額	吉川	1,270円	1,270円
		馬渕	1,315円	
		水口	1,679円	
使用料金の料率	使用水量1㎡につき	吉川	27円	31円30銭
		馬渕		
		水口		
(参考)	責任水量1㎡あたりの単価	吉川	83円	87円
		馬渕	85円	
		水口	100円	

2. 水量見通し

平成28年度以降の料金算定における水量は上記協定書に基づく水量とし、現行と同水量

(単位：㎡/日)

地区（市町名）	基本水量	責任水量
吉川地区（草津市、守山市、栗東市、野洲市、湖南市）	81,100	60,830
馬渕地区（近江八幡市、東近江市、日野町、竜王町）	77,100	57,830
水口地区（甲賀市）	34,530	25,910
計	192,730	144,570

3. 料金算定について

料金は、料金算定期間（H28～32年度）の水量と給水原価をもとに算出

【基本料金】

資本費	÷	基本水量	÷	月数	≡	基本料金
14,710百万円		192,730m3／日		60月		月額 1,270円／m3

資本費：施設の建設、更新・拡充に必要な経費（減価償却費、支払利息、資産維持費等）

【使用料金】

維持管理費	÷	責任水量	÷	日数	≡	使用料金
8,255百万円		144,570m3／日		1826日		31.3円／m3

責任水量：基本水量の75%

維持管理費：給水業務に必要な経費（人件費、動力費、薬品費等）

<維持管理費増加の主な理由>

動力費：電気料金の値上げ（影響額 3.8円）

委託料：労務単価上昇、水質基準改正による活性炭処理日数の増加等

薬品費：水質基準改正による活性炭等の増加

4. 収支見通し

<収益的収支>

(単位：百万円)

	H27年度 (予算)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	計 (H28～H32)
◆収益的收入(税抜)	4,806	4,771	4,762	4,757	4,746	4,723	23,759
うち給水収益	4,484	4,481	4,481	4,481	4,485	4,481	22,409
うち長期前受金戻入	307	287	278	274	259	240	1,338
◆収益的支出(税抜)	4,088	4,185	4,414	4,377	4,384	4,301	21,661
資本費	2,497	2,544	2,707	2,741	2,752	2,662	13,406
維持管理費	1,591	1,641	1,707	1,636	1,632	1,639	8,255
◆当年度純利益	718	586	348	380	362	422	2,098
◆長期前受金戻入を除く利益	411	299	70	106	103	182	760

<資本的収支>

	H27年度 (予算)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	計 (H28～H32)
◆資本的收入(税込)	1,225	809	950	1,792	2,050	2,043	7,644
うち企業債	1,060	800	950	1,792	2,050	2,043	7,635
うち国庫補助金	146	0	0	0	0	0	0
◆資本支出(税込)	5,401	3,127	3,494	5,715	6,332	6,396	25,064
うち建設改良費	4,167	2,056	2,486	4,688	5,363	5,344	19,937
うち企業債償還金	1,174	1,056	1,002	1,018	965	1,027	5,068
◆資本的収支差	△ 4,176	△ 2,318	△ 2,544	△ 3,923	△ 4,282	△ 4,353	△ 17,420
◆企業債残高	12,050	11,795	11,743	12,518	13,603	14,619	—
◆内部留保資金	6,001	6,454	6,734	5,910	4,700	3,381	—

施設整備計画に基づき算定

5. 施設整備について(平成28年度～平成32年度)

アセットマネジメントにより、影響度や老朽度を考慮して更新を実施

主な施設・設備の更新・改良

(単位：百万円)

地区	工事費総額	主な工事内容
吉川地区	11,509	沈殿池設備（1系急速・緩速攪拌機等）更新 浄水場更新工事(耐震化対策) ※ 管路工事（西部幹線）
馬淵地区	5,123	中央監視設備 導水ポンプ場耐震工事 管路更新（日野ルート等）
水口地区	1,990	脱水設備電気設備 脱臭処理施設設備 管路更新（巖峨ルート）
計	18,622	—

※浄水場更新工事（耐震化対策）は、施設規模および工事費について精査中